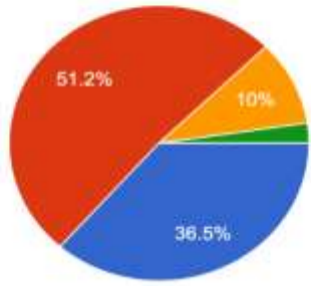


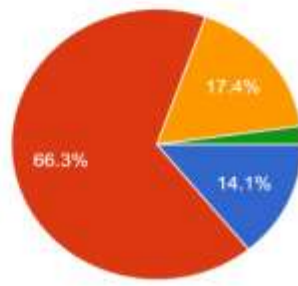
5、6年生児童

5、6年生保護者

授業にやる気をもって臨んでいる
170件の回答

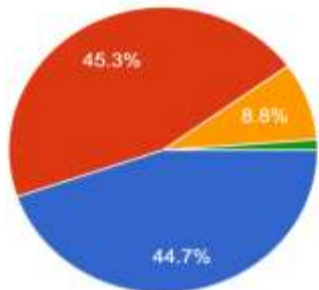


子どもは意欲的に学習に取り組んでいる
92件の回答

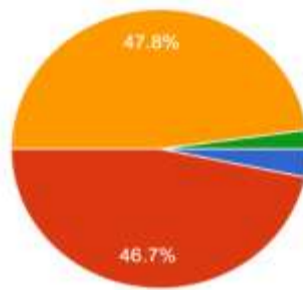


● とてもそう思う
● そう思う
● あまりそう思わない
● そう思わない

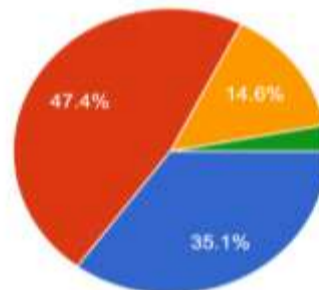
授業はよくわかる
170件の回答



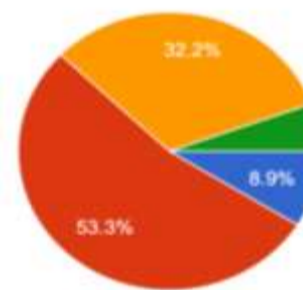
学習のことで子どもから話をすることが増えた
92件の回答



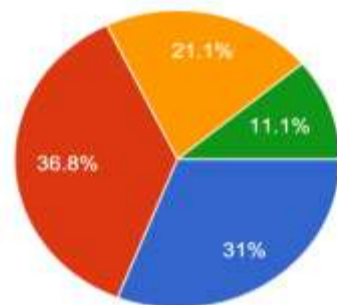
一つ一つの授業に気持ちを切り替えて臨んでいる
171件の回答



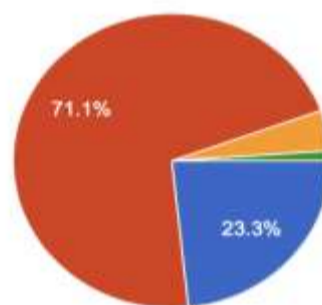
授業の切り替えにメリハリが付き、中学校への移行がスムーズになった
90件の回答



学習や学校生活のことで相談できる先生が増えた
171件の回答



様々な先生に関わってもらえている
90件の回答



- 学習意欲や理解について
意欲:児童→87.7% 理解:児童→90%
・「教え方や工夫がそれぞれ違うのでやる気が出る。」「授業がわかりやすい。」など、教科担任制を肯定的に捉える児童が大変多いとわかった。
・保護者からは「専門の先生に教えてもらえて、より深い学びができていているように感じている。」「教科担任になった事で子どもが学習意欲を持てるようになった。」など、評価をいただいた。
・「担当される先生が、多くの生徒をみることになり、一人一人の習熟度を把握できるのか。」といった心配や、毎時間の教科学習の振り返りなどが児童の負担になっていることなど、教科ごとに出される課題のあり方を問うご意見があり、2学期に向けて検討する必要がある。
- 複数の教職員が関わることについて
児童→67.8% 保護者→94.4%
・「いろいろな先生を知り、教えてもらえる、見てもらえる、関われる、安心」「次はあの先生だなあと楽しみになる。」と肯定的に捉える児童がいる反面、教師による指導や授業の進め方の違いに戸惑いがあったり、授業ごとに担任が入れ替わることにより抵抗があったりするなど、複数の教職員が関わることにマイナス評価をする児童もいる。慣れるためにもう少し時間が必要だと感じる。
・保護者は複数で多面的に子どもを理解できる教科担任制の仕組みに理解を寄せている回答が多い。
・新たな取り組みであり、保護者からは「各科目の担当の教師同士の横の繋がりが密に取れているのか気になる。」「児童それぞれの個性や特徴を教師同士が共有し、理解して授業に活かしてもらいたい。」「人とのつきあい方や集団の中での自分の表現の仕方等を学ぶ時期なので、子どもたちにとって何が大切なのかをよく考えて進めてほしい。」などのご意見がある。子どもの姿や成長をしっかりと見取り、小学校ならではの教科担任制のよりよいあり方を求め、マイナーチェンジしていく必要があると感じている。

分析:教頭

